

斜里町議会議員 4期目

桜井あけみ 議会レポート

No. 62

2022年 4月4日発行



アカゲラ・賑やかに
繁殖の季節です。
ドラミングの音。
忙しそうですよ。



みなさん こんにちは

一年間の行政の事業と予算が決まりました。昨年は、コロナで落ち込んだ観光に対して、今後の観光に対しての動きがないことに、ちょっとがっかりしていました。それでも、コロナ感染対策に対する町の事業は、良い形で進められたと思っています。観光は、少し動き出しそうです。

そして令和4年度も、やはりコロナ感染対策は続くのでしょうか。他の町で、何かやっているから斜里町でも・・・という対応ではなく、この町の産業構造をしっかりと見据えれば、どこに力を入れていくべきなのかが見えてきます。今年度も、そうした対応を買い取って欲しいなあ、と思いました。

また、一昨年末に「町の財政がピンチ！」と言うことで、アクションプランが立てられました。さまざまな事業や助成金なども一律でカットされてきました。しかし、昨年度の決算などを見ると、ちょっと違うかもしれないとも思います。

町の人口減少は、きっと止まらないと思うのです。だからと言ってゼロになるわけではなく、今の産業構造を維持するための人、そしてその仕事に従事する人たちの年齢が、しっかりと世代交代できるようなまちづくりを目指していけば、いいのかなあ、など考えながら、3月18日の最終日を迎えていました。

そんな中で、これから町が作っていく計画は、町のこれからのをしっかりと見据えたものであって欲しいと、思いました。

新年度へ向けて、3月定例会議の中のいくつか思うこと、見えたことなど、桜井の意見も交えておしらせします。

読んでください。

* 新年度の事業内容については町からの「ことしの仕事」をご参考に

昨年の町の（事業）予算の振り返り



● 昨年は、これまで取り組みの少なかった地域おこし協力隊の活用で11名の募集をしていました。予定人材確保は難しかったようですが、今年度も何人かの方が決まりました。彼らを必要としている中で、来てくださった皆さんに、斜里の魅力がたくさん伝わると良いなあと思います。



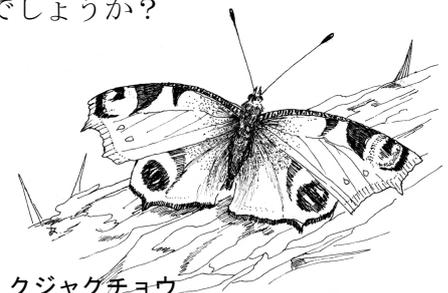
セイヨウタンポポ

● コロナの影響で予定していたイベントや事業は軒並み中止でした。事業そのものを見直すことも必要なときではないだろうかと思いました。

● コロナの影響で低迷していた、商工観光業に、町はプレミアム付きのクーポンを発行しました。根本的な消費回復には難しい部分もありますが、やはり人の動きが元に戻るためのきっかけになったはずです。みなさんの日々の暮らしは、まだ、自粛でしょうか？

● 昨年の収入と支出は、大きくバランスを崩したそうです。まだ、昨年度の決算は出ていませんが、（余った予算は、と言うと違う！と言われますが）3億円を超えるかもしれないと言う試算です。

（補正予算、新年度の質疑で質問されていたことで、わかりました）できるだけ、これからのコロナ経済回復のための投資に、そして老朽化施設の整備を、そして次の世代を、この町を担う人たちのために子育て事業に、そしてインフラ施設整備に力を入れて欲しいです。



クジャクチョウ

●ゴミ問題に取り組む 動きが！
12月議会の5名で行った
一般質問の成果？

～と言う単純なものではないかもしれませんが、4月号の広報には「ゴミのポイ捨て禁止」「ゴミ問題」への一歩と言える取り組みがありました。町民をしっかりと巻き込む取り組みにつながればいいですね。

私たちが提案していた「車にステッカー」は、沿道に捨てられる缶やペットボトルの抑止に繋がり、訪問者への啓蒙活動に繋がります。そして、事業者さん含めた取り組みにもなるはず。

今後、どのように展開していくのか？
今後取り組んで欲しいメニューだと思います。

注目ですね。

まずは、みんなでゴミ拾い！

●さらに、町が今回宣言した
ゼロカーボンシティ・脱炭素を目指す
動きにも繋がります。

海洋プラスチック問題やゴミのポイ捨ては、環境に影響を及ぼすさまざまな問題につながっています。とにかく「捨てない」「捨てないということは回収する・回収したものはリサイクル資源につながる」はずです。

いつか、斜里町から「ゴミ拾いする」という行動がなくなるように。



●ゼロカーボンシティ宣言の事業推進、
目新しい事業にだけでなく
現事業の中でできることを！

と、思います。今回の一般質問では、そのことについて町長に質問しました。

とかく言われる「再生可能エネルギー」とは、大規模太陽光パネルの設置や風力発電などです。でも、斜里町では、現状の農地、景観、自然環境の点からも設置には多くの課題があります。

脱炭素・と言う点では例えば「自動車」

例えば、ゴミ処理では現在、ウトロから45kmほど離れた処理場へ毎日、何台もの車両が走ります。この台数を減らすこと。そのためにいまの事業を変えていくこと。今後、ゴミ処理場の再計画がありますが、こうした視点で取り組むことも必要です。給食車両も同じことが言えます。

大規模太陽光ではなく、公共施設に太陽光パネルを増やしたり。

何より、広大な森林と畑があります。二酸化炭素の吸収量など含めて、都市部で求められるような脱炭素のメニューだけではない視点で、斜里町は取り組んで欲しいと思いました。

町も、そうした視点で考えていくといいのですが



●こんな
つもりで
一般質問
3項目でした



●空き家対策の計画ができました。
同時に空き家を利用していく取り組み
もやって欲しいと思います。

特に市街地での空き店舗の活用など、商工会や民間事業者とも連携を取りながら、求める方の起業、移住、活用をまちづくりの一環として、繋げられるような対応を、行政と民間で連携しながらやって欲しいです。

活用すれば、地域のパワーに

空き家には、
可能性が

いっぱい！ かもしれない！



●国がスクールカウンセラーの配置を
実施。が、現状では有効に活用されて
いないのでは？

本人もなかなか気づかない、けれども苦しい思いや生きづらさを抱えているかもしれない。保護者も不安を持っているかもしれない。そんな心のケアに対応してくれるカウンセラーの配置。

北海道からの派遣になりますが、その周知や利用実態は十分でしょうか？

と言うことを教育委員会へ質問しました。



ゼロカーボンとは

自然景観に囲まれた地域です。ニュートラルに！

新年度の予算や計画や事業で思ったこと

●当たり前ですが

作った施設は古くなるし
維持管理費はかかります

その管理を計画的に行うために（お金のやりくり含めて）計画を策定します。

役場庁舎は、耐震の工事が終わりました。これからは、細かなところを改修していきます。

例えば

- トイレの洋式化（2695万円）
- 玄関改修含む、役場庁舎の維持管理（2500万円）

他の施設でも

- 図書館を運営して、建物維持管理（2700万円）
- ゆめホールの維持管理（9890万円）
- 博物館の維持管理（3758万円）
- 給食センター維持管理（1164万円）

他にも、たくさんの公共施設があります。当たり前の話ですがこうして、施設を維持管理するだけでお金はかかっていきます。

そして、多くの施設は老朽化が進んでいます。なので今後、中にはなるべく早い対応の必要な施設がたくさんあります。なくてもいいや！なんて施設はありません。

- 行政事務のOA化・推進にも
（6337万円）

OA化・つまり帳簿や帳面や紙ではないもの、パソコンで、クラウドで事務をする・・・

これは、我が町がそうするとかしらいというものではなく、全国の自治体がそうやって行政事務を進めています。

デジタルってことですね。

昨年よりも900万円くらい減りますが必要な経費。



「システム開発」

これからDX!?!という言葉も出てきます

- ・朝日小学校
- ・給食センター
- ・博物館
- ・夕陽台の湯
- ・ポルトも？
- ・国保病院だって
- ・地域の公民館
- ・保育所
- ・海洋センターも

たくさん、改築や改修が必要となる施設がまだまだあります



- 今回、朝日小学校の長寿命化改良実施設計費（1500万円）が地方債で計上されています。今回は設計だけで、これから改修費がかかります。（どれくらいかかるんでしょう？）

私たちが、この町で暮らしていく上での施設維持はこれからもずっと続きます。そして、次を担う世代へ繋がれていくはずで。これから、どれくらいの町の規模になるのか？

私は、2年後に策定される第7次総合計画は、本当に将来を見据えた計画でなくてはならないと思います。

そのためには、規模に見合った計画を考えて欲しいと思います。今年のちょうど一年前の議会レポートでは「過疎債」が使えるようになったことを書きました。町の人たちの希望する（みんなではないですね）温浴施設も、果たして本当に必要な施設だろうか？町のための優先順位を見極めなければ、と思いました。

（推進されている皆さんには叱られそうですが）

- そんな中で、同僚の久保議員が総括質疑の中で、他市町への通院手段は、関係する町村含めて連携してバスを走らせることも今後は必要では？という質問をされていました。だったら、そのバスを利用して近隣の施設を利用することもいいかもしれない。逆に斜里町へも来てもらえる。

そんなことを思いました。

具体的な事業連携が見えて来た「広域連携」。網走市を中心としての定住自立圏構想が動き出そうとしています。これまでとは、本当に価値観や視点、そして町の継続という意識を持って取り組まなければならないんだなあ～ そんなことを、強く思いました。



一緒にできることは連携してやろう～

(前ページから続きます) ~とは言いましたが・・・この町の将来のために 子育てには、もっと力を入れるべき。

そして、観光施設の充実は、観光客が施設利用で町の経済が動きます。そこには、しっかり投資をしていくべきだと思います。

子供の医療費助成も、地域活性につなげる取り組み連携になるはず！

次世代の町民を育てる・そして観光ではお金を稼ぐために・「投資すること」だと思いませんか？

知床の観光
まだまだ、伸びる
産業です。
そこに、しっかり
力を入れるべきで
すね。



・つぶやき・含めて・私信など



住んで・暮らせる町・斜里

この冬は、随分と雪の多い年でした。また、最近あまり強くなかった風も去年はよく吹き荒れました。除雪費・災害復旧費は多かったですね。議会は・昨年度は、議員間の情報、議会の情報がなかなか共有されないことが気になりました。モニター制度・議会がモニターさんの役割をどう活かすのか？なんのためのモニターさんなのか？についても、議員もモニターさんも戸惑うことが多い感じでした。そんな中で、12月のゴミ問題について、一つのテーマについてそれぞれで一般質問ができたことについては、モニターさんからも、町の方からも褒めていただきました。さて、今年度は、どんなことに取り組めるのか？



私個人、そして町政研究会のメンバーとも、また一緒に動いていけると良いと思っています。

・気をつけようと思っていること



情報あふれる今。届けたい人に必要な情報を、どうやったら届けることができるのかな？情報弱者を出さないことに気をつけようと思いつながりながら、押し付ける情報は、本当にその人にとっての情報になるものなのか？についても考えます。

「たくさん知ることが必要なことではなく、自分らしく暮らし生活することに必要なことを知ることが、実は大切だと思うんだよ」と、図書館活動で知りあった来運のMさんの言葉を最近よく思い出します。あふれる情報を鵜呑みにせず、恐怖心さえ感じる「同調圧力」に流されないように。しっかり考え、自分で判断していかなくちゃ！と思う日々。

・さて、89歳になった母と一緒に、あちらこちらに出かけてこようと思います。マスク・消毒・距離を意識して。

また、6月定例会議まで。さようなら
読んでいただき、ありがとうございました。

ツイッターとフェイスブック で ほぼ毎日・情報発信しています。
桜井あけみ か、SAKURAI AKEMIで検索してください。

- 議会レポートをブログの方に掲載します。
 - 桜井あけみ「ふつう」の生活 で検索しても出て来ます
 - <http://akemiburogu.sblo.jp/> コメントを待っています。
- 「桜井あけみ後援会」活動報告書 099-4351 斜里町ウトロ香川104



メールアドレスは
koe@akemichan.net
です。

携帯からのメールは、こちらからの返信が届かないこともあります。ご了承ください。

文中の誤字脱字については、お許しください。ごめんなさい・・・